

1. 活動の概要

6月1日(水)、益田市立西益田小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに益田市教育委員会の方から校区内で発掘調査をされた中小路遺跡や、益田市内の遺跡について説明を聞きました。特に中小路遺跡については西益田小学校の先輩達が発掘調査体験をしたことを聞いて、みんなビックリして、「自分たちも本物の遺跡を発掘してみたい!」という意見が多くありました。その後、中小路遺跡で見つかった土器、益田市内で見つかった銅鏡などの出土品、島根県内で見つかった勾玉や管玉や玉を作る砥石などを、見たり手に持ったりしました。「この大きな土器はどうやってつくったの?」「この玉をつくった砥石、ツルツルして気持ちいい!」など色々な感想や質問がありました。次に、「勾玉づくり」に挑戦しました。「L」の形に加工した石から勾玉を作るのですが、丸くするのが難しいようで、みんな苦勞していました。最後に「貫頭衣(かんとうい)」という古代衣装を着て、完成した勾玉や完成間近の勾玉を身に着けて記念撮影をしました。地域の歴史といにしへの技法を学んだ一日となりました。

2. 活動の様子

1) 益田市の遺跡について知ろう



「中小路遺跡ではみんなの先輩が発掘体験をしました」



「この砥石ツルツルしているよ」

2) 古代体験活動～勾玉作り～



「がんばって勾玉をつくりましょう。」



「きれいな勾玉ができました♪」



「古代衣装、似合っているかな?」



「古代人のそろい踏みだよ!」

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- ・西益田小学校の近くにもたくさん遺跡が見つまっていることを知ってビックリしました。
- ・本物の遺跡を発掘してみたいです。
- ・むかしのモノにさわれて楽しかったです。
- ・他の遺跡について知りたいです。

2)担任の先生から…

○メールや直接来校していただいて打ち合わせさせていただいたことで、見通しをもって臨むことができました。

3)埋文センターから

自分たちの通う学校の近くに益田市を代表する遺跡があることを知って、地域の歴史について興味が深まったようです。また本物の出土品を直に見て、触って、感動していました。

勾玉づくりでは、なんとか時間内に形になり、古代衣装を着て友達と写真を撮れて、良い記念になったようです。